

2016年10月9日(日)

青木 靖

神が味方であるなら

ローマ8章31節～39節

ローマ8:31では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

1. 「賜物の確信」と アブラハムの「信仰」

8:32 私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありますでしょう。

創世記15:5、6、マタイ6:33、マタイ7:7～11

2. 「救いの確信」と モーセの「特権」

8:33 神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。8:34 罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。

出エジプト3:7～10、エペソ2:8、Ⅱコリント5:14～5:17

3. 「勝利の確信」と ダビデの「確信」

8:37 しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。

Iサムエル17:45～47、ヨハネ8:12、Iヨハネ5:4～5

8:38 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、

8:39 高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

グループディスカッション

1. あなたのために既に与えられている「賜物の確信」について考えましょう。
2. 信仰の土台となる「救いの確信」について考えましょう。
3. 未来に約束されている圧倒的な「勝利の確信」について考えましょう。